

どんな研究？

- ①人間と日常的に自然なコミュニケーションを行うコンピュータを実現するための基礎研究
- ②参加者の内面に働きかけて、共感を呼び起こし、会話意欲を刺激して、会話を活性化させる研究

もたらされる変革

- ①コンピュータが親近感と温かみに溢れた存在へ
- ②協同学習やデイケアを通じた活発な交流を支援
- ③少子高齢化により増加する独居高齢者の社会的孤立を防止するコミュニティの形成支援

展示紹介

会話の場に参加する人から会話意欲を引き出して、人に共感して、エージェントへの親近感を高めて、会話の満足度を向上させる2つのシステムを紹介します。

★思考喚起型多人数対話システム「CAMP」

クイズを通じて、エージェントが人に自ら考えるよう問い掛けたり、場に応じて適切な感情表現を示すことで、人の発言意欲を高めます。

★共感喚起型対話システム「MAFFIN」

エージェント自ら考えを明らかにしたり、人の発言に理解を示すことで、親しみやすく、より身近な存在として感じることができます。



南

連絡先：南 泰浩，森 啓

メディア情報研究部

コミュニケーション環境研究グループ



森

安全・安心の
コミュニティ

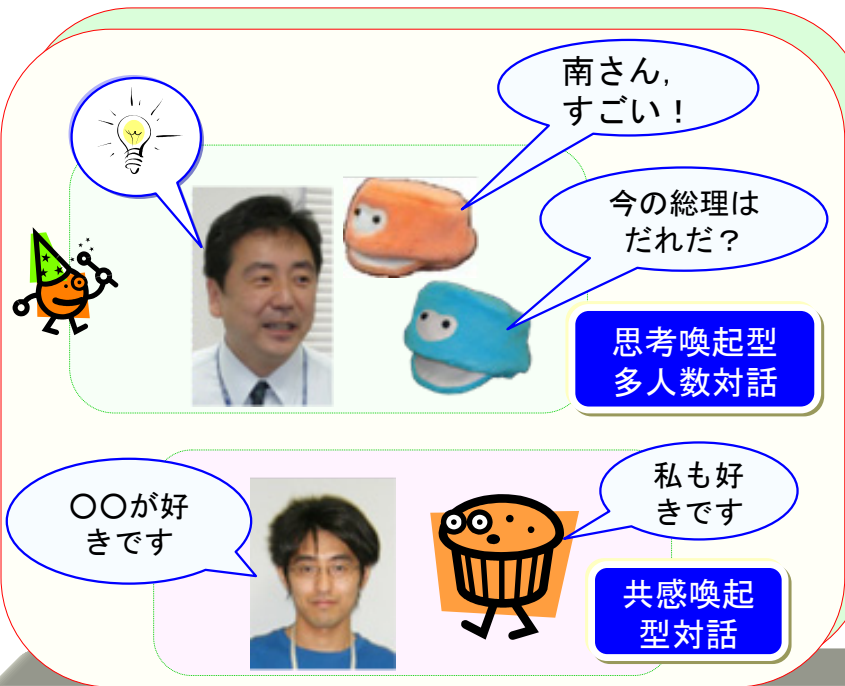
交流が活発
になる

人の輪が
拡がり

コミュニケーション
活性化

満足度増
親近感増

発言意欲
を刺激



感情表現

思考喚起

自己開示

共感表出

基盤となる技術

【思考喚起型・共感喚起型対話のポイント】

- (1) 感情に働きかけて (感情表現)
- (2) 人に問い掛けて (思考喚起)
- (3) 自らの気持ちを出して (自己開示)
- (4) 人と想いを共有して (共感表出)



きのこ
回答エージェント
(まっしゅるーむ)



ふーふー
出題エージェント
(まっしゅるーむ)